

統計からみる島根県

島根県立大学しまね地域共生学入門

令和4年4月15日(金)

島根県政策企画局統計調査課 森

目次

1. 島根県をデータから概観する
2. 島根県の人口（国勢調査からわかること）
3. 統計にみる島根県経済へのコロナの影響
4. 最後に

1. 島根県をデータから概観する

- (1) 島根県のデータ
- (2) 「知事からのメッセージ」
- (3) 全国順位からみた島根県

3

島根県のデータ

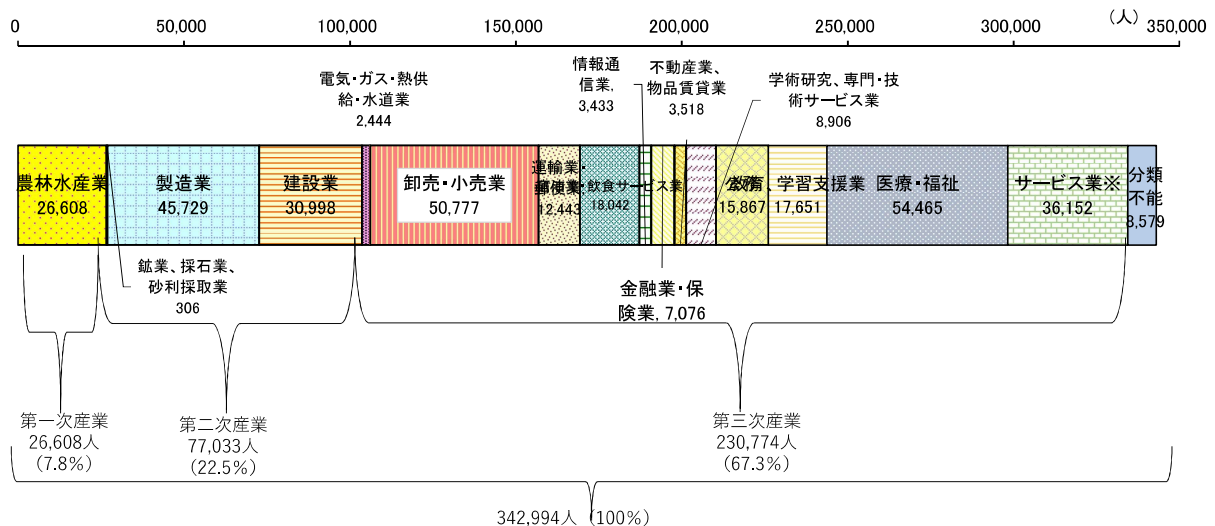
項目	島根県	調査時
面積	6,707.85km ²	R4.1.1
人口	671,126人	R2.10.1
0～14歳の人口	81,837人 (12.2%)	R2.10.1
15～64歳の人口	359,735人 (53.6%)	R2.10.1
65歳以上の人口	229,554人 (34.2%)	R2.10.1
世帯数	269,892世帯	R2.10.1
人口密度	100.1 人/km ²	R2.10.1
男の人の平均寿命	80.79年	H27
女の人の平均寿命	87.64年	H27

全国都道府市区町村別面積調 (国土交通省国土地理院) <https://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/MENCHO-title.htm>
令和2年国勢調査 (総務省統計局) <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>
平成27年都道府県別生命表 (厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/tdfk15/index.html>

4

島根県の産業別就業者数 (平成27年国勢調査)

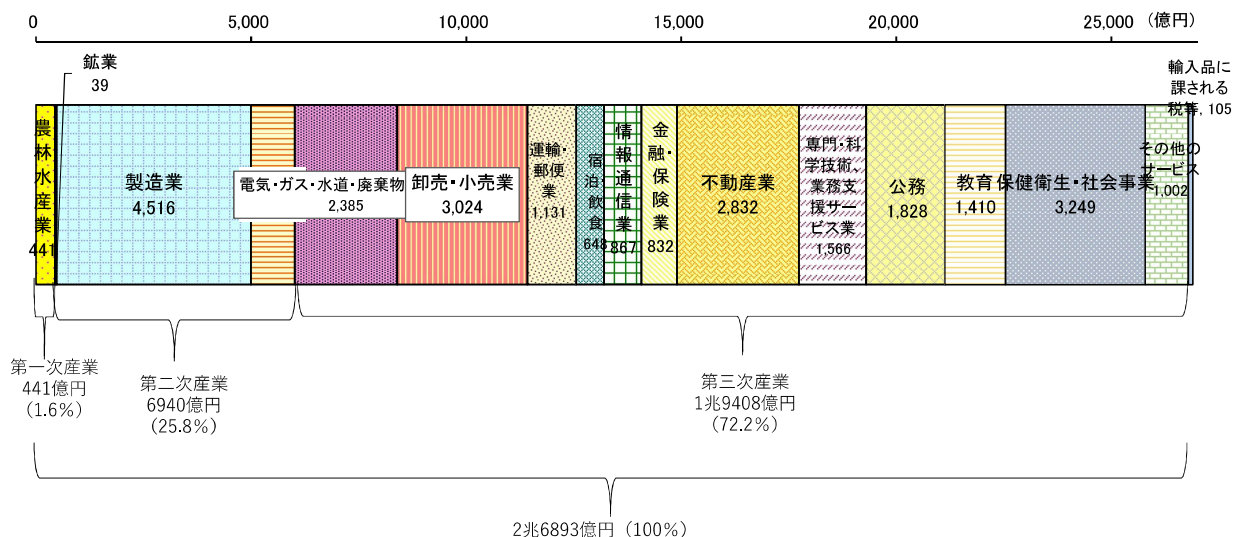
- ・平成27年国勢調査における就業者人口（15歳以上のうち、就業している人）は342,994人
- ・産業3部門別の構成比は、第1次産業7.8%、第2次産業22.5%、第3次産業67.3%



※ サービス業は、「生活関連サービス業,娯楽業」「複合サービス事業」「サービス業（他に分類されないもの）」を合算

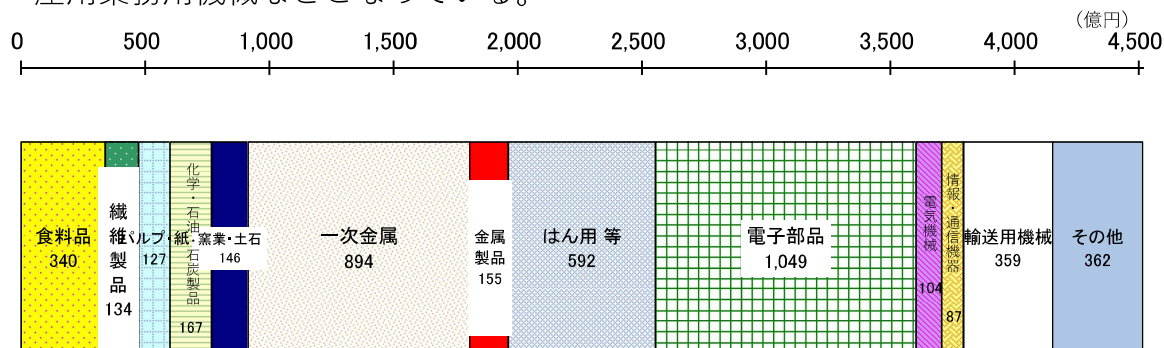
島根県の産業別県内総生産額 (令和元年度経済活動別県内総生産(名目))

- ・令和元年度の県内総生産（県全体の付加価値額）は、名目で2兆6893億円
- ・産業3部門別の構成比は、第1次産業1.6%、第2次産業25.8%、第3次産業72.2%



製造業における島根県の県内総生産額 (令和元年度経済活動別県内総生産(名目))

・令和元年度の県内総生産が最も大きい製造業（4516億円）の内訳を見ると、もっともシェアが大きいのは電子部品・デバイス、次いで一次金属、はん用生産用業務用機械などとなっている。



【参考】 島根県における平成27年の製造業の品目別トップ3 (H28経済センサス)

県内の品目別トップ3	一位	二位	三位
出荷額	固定コンデンサ (1,539百万円、全国1位)	パーソナルコンピュータ (X百万円、全国3位)	工具鋼 (X百万円、全国1位)

みなさん、こんにちは。

島根県知事の丸山達也(まるやまたつや)

です。

実は私は1ターナー者です。福岡県に生まれ、東京をはじめ、全国各地で暮らしてきました。

そんな私が島根定住を決めたポイントは、島根の皆さんの人柄の温かさと島根の暮らしの豊かさです。

島根県人は、何事にも真面目で一生懸命。そして困っている人がいるとお互い助け合い、地域社会の絆を守り続けています。

島根の暮らしは、いわゆる職住近接で通勤時間は短く、育住近接で待機児童もほとんどいません。出生率も全国トップクラスで、子育てしやすい環境に恵まれています。

是非皆さんも、「チームしまね」の一員に加わってください。

「皆さんのお越しをお待ちしております」

島根県知事 丸山達也



島根創生 SHIMANE SOUSEI

笑顔あふれるしまね暮らし宣言

島根には、自然と歴史の中で営んできた、人々の豊かな暮らしがあります。

近所では、子どもたちが元気に走り回り、若者は恋愛をし、趣味を楽しみ、地域活動にも参加する。

家族を思い、やりがいのある仕事に就き、高齢になっても、元気で生きがいを感じている。皆で囲む食卓は笑い声に包まれ、穏やかに心地よい時間が流れる。

そんなごく普通の暮らしです。

地域の助け合いや絆が残る古き良き人間関係が、郷土愛と誇りを育み、人々の多様な関わりを通して生まれる新しい試みが、未来への希望を高め、暮らしをより豊かなものにしていきます。

この人間らしい、温もりのある暮らしを、ここで営み続けたい。未来の子どもたちへ、大切に語り届けたい。日本中の多くの人へ、島根にしかない暮らしを知ってもらいたい。

「島根創生」の始まりにあたり、「笑顔あふれるしまね暮らし」を守り、育て、未来へつなげていくことを、ここに宣言します。



イメージ画像のご紹介



Access

島根県へは飛行機でのアクセスも便利です。出雲線結び空港、森・石見空港、離脱世界ジオパーク空港の県内3つの空港に加え、隣接する鳥取県の米子鬼太郎空港も松江市中心部まで車で約30分。国内主要都市から定期便が就航しています。



島根県

島根県 政策企画局 政策企画室
〒690-8501 松江市殿町1番地
TEL: 0852-22-5093 / FAX: 0852-22-6034
E-mail: seisaku-kikaku@pref.shimane.lg.jp
URL: https://www.pref.shimane.lg.jp/

(2022年4月発行)

Invitation from Shimane pref.

しまねからの招待状



自分のサイズで、生きていい。

いいけん、島根県



The charm of Shimane pref. ここにしかない島根の魅力をご紹介します。

都会の生活は便利で刺激的です。でも反面、通勤ラッシュや住宅事情は厳しいものがあります。島根には、都会にはない魅力があります。夕方には家族みんなで食卓を囲んで、団らんを楽しむ、ごく普通の暮らしです。あなたにとって、どちらが魅力的ですか？



Work 仕事



自分らしく働きたい！
ワークライフバランスが大事！

あなたを必要としている、あなたにピッタリの職場が見つかります。通勤時間が短く、帰宅後はしっかりリフレッシュできます。

通勤・通学時間
往復58分 短さ全国2位※1

他市区町村への通勤者
少なさ全国1位※2

仕事時間
5時間45分 短さ全国5位※1

帰宅時間
18:16 早さ全国2位※1

若者の就業率 | 完全失業率
全国1位※3 | 低さ全国1位※2

Life 暮らし



自然の中でゆっくり過ごしたい！
広い家でゆったり住みたい！

くつろぎながら、自分の生きがいのために時間を使えます。新鮮な食べ物や温泉も豊富で、潤いのある暮らしが満喫できます。

美肌ランキンゴ
グランプリ獲得回数全国1位※4

睡眠時間
7時間53分 全国5位※1

住宅地価格 | 持ち家住宅の延べ面積
安さ全国5位※5 | 全国7位※2

ボランティア活動
全国3位※1

交通事故発生件数、死者数
(人口10万人当たり) 少なさ全国1位※2

Childcare 子育て



結婚・出産しても働き続けたい！
子どもをのびのび育てたい！

仕事をしながら「子どもをもう1人育てたい」という希望もかなえやすい環境です。自家用車を持ちやすく、通勤途中で保育所の送り迎えもできるので、雨の日でも快適です。

育児をしている女性の有業率
81.2% 全国1位※6

合計特殊出生率 | 保育所待機児童数
1.60 全国6位※7 | 1人※8

保育所数 (10万人あたり) | 児童クラブ数 (10万人あたり)
全国2位※2 | 全国2位※9

軽自動車普及率(世帯あたり)
全国4位※10

一般診療所数(人口10万人当たり)
全国2位※2

※1: 2021年 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省
※2: R3 国勢調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査
※3: R3 国勢調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査
※4: 2021年 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省
※5: R3 国勢調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査
※6: R3 国勢調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査
※7: R3 国勢調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査
※8: R3 国勢調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査
※9: R3 国勢調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査
※10: R3 国勢調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査 人口動態調査

データの出典

	統計名	実施者	URL	県の担当窓口
1	社会生活基本調査	総務省	http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/index.html	統計調査課
2	社会生活統計指標	総務省	http://www.stat.go.jp/data/ssds/index.html	統計調査課
3	国勢調査	総務省	http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.html	統計調査課
4	美肌県グランプリ (POLA)	民間	https://www.pola.co.jp/special/bihadaken/	
5	都道府県地価調査	国交省	https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/totikensangyo_fr4_000044.html	用地対策課
6	就業構造基本調査	総務省	http://www.stat.go.jp/data/shugyou/2017/index.html	統計調査課
7	人口動態統計	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html	健康福祉 総務課
8	保育所等利用待機 児童数調査	厚生労働省	https://www.pref.shimane.lg.jp/education/syoushika/kosodate/hoikusho/taikijidou.html	子ども・子育て支援課
9	児童クラブ数	厚生労働省	https://www.pref.shimane.lg.jp/education/syoushika/kosodate/seido/houkagojidoukurabu.html	子ども・子育て支援課
10	全国軽自動車協会 連合会	民間	https://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics	

11

数字を用いることの効用

- 問題を分かりやすくすること
- 論理的に考えること
- 人に分かりやすく伝えること

- 数学は言葉と並んで、人間が人間であることを最も鮮明にあらわすものです。しかも文学や音楽と同じように、毎日毎日の努力を積み重ねてはじめて身につけることができます。
- 数学の本質は、そのときどきの状況を冷静に判断し、しかも全体の大きな流れを見失うことなく、論理的に、理性的に考えを進めることにあります。

宇沢弘文「好きになる数学入門」岩波書店 より
(米子出身の世界的経済学者)

「統計でみる都道府県のすがた2022」にみる島根県

分野		項目	指標値	単位	年度	順位
A. 人口・世帯	1	総人口	67	万人	2019	46
	2	総人口〔男〕	33	万人	2019	46
	3	総人口〔女〕	35	万人	2019	46
	4	外国人人口 (人口10万人当たり)	773.5	人	2015	25
	5	全国総人口に占める 人口割合	0.53	%	2019	46
	6	総面積1km ² 当たり 人口密度	100.5	人	2019	43
	7	可住地面積1km ² 当たり 人口密度	518.9	人	2019	39
	8	昼夜間人口比率	100.1	%	2015	11
	9	人口集中地区人口比率 (対総人口)	24.2	%	2015	47
	10	15歳未満人口割合 (対総人口)	12.3	%	2019	13 15

「統計でみる都道府県のすがた2022」にみる島根県

分野		項目	指標値	単位	年度	順位	
D	行政基盤	132	教育費(人口1人当たり) (都道府県・市町村財政合計)	203.5	千円	2019	1
D	行政基盤	139	幼稚園費(児童1人当たり) (都道府県・市町村財政合計)	980.1	千円	2019	1
E	教育	142	高等学校数 (15~17歳人口10万人当たり)	229.5	校	2019	1
E	教育	157	公立幼稚園在園者比率 (対幼稚園在園者数)	88.2	%	2020	1
E	教育	163	不登校による小学校長期欠席児童比率 (年度間30日以上)(児童千人当たり)	14.51	-	2019	1
E	教育	172	各種学校数(人口10万人当たり)	4.3	校	2019	1
I	健康・医療	305	周産期死亡率((死産数(妊娠22週以後)+ 早期新生児死亡数)÷出生数+死産数 (妊娠22週以後))	5.3	-	2020	1
I	健康・医療	333	保健師数(人口10万人当たり)	79.3	人	2018	1
I	健康・医療	335	救急自動車数(人口10万人当たり)	11.6	台	2019	1
J	福祉・社会 保障	350	介護老人福祉施設数 (65歳以上人口10万人当たり)	40.3	所	2019	1

※ 島根県が全国トップの項目

2.島根県の人口 (国勢調査から分かること)

- (1) 島根県の人口と年齢構成
- (2) 少子高齢化から見る島根県の位置づけ

【国勢調査とは】

わが国の人口・世帯の実態を明らかにするため、5年に1度行われる、国の最も重要な統計調査。国内に住むすべての人と世帯が対象。

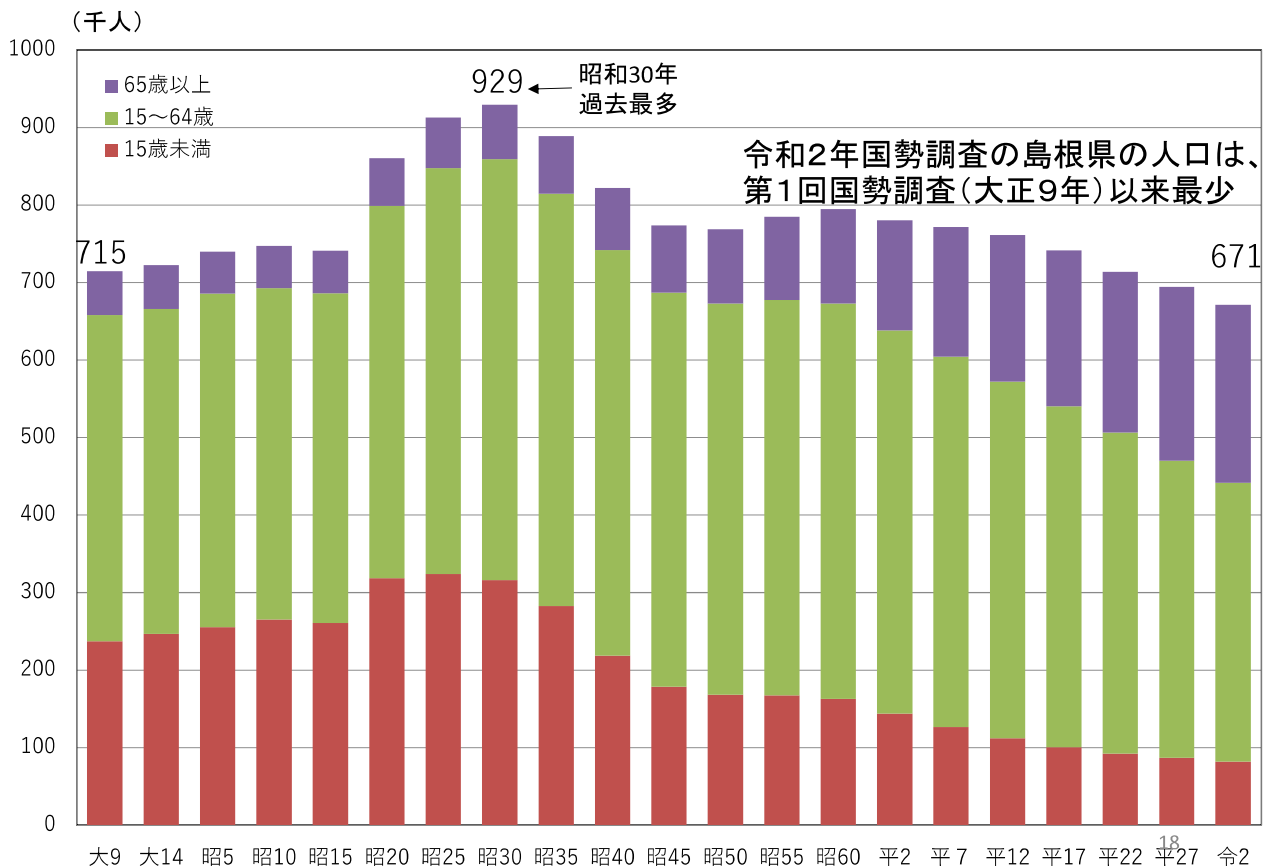
1. 島根県の人口と年齢構成

		総数	人口増減率	15歳未満	15～64歳	65歳以上
R2	人口	671,126人	▲3.3%	81,837人	359,735人	229,554人
	構成割合	100%	-	12.2%	53.6%	34.2%
	全国順位	46位	32位	16位	46位	4位
H27	人口	694,352人	▲3.2%	86,763人	383,287人	224,302人
	構成割合	100%	-	12.5%	55.2%	32.3%
	全国順位	46位	35位	27位	47位	3位

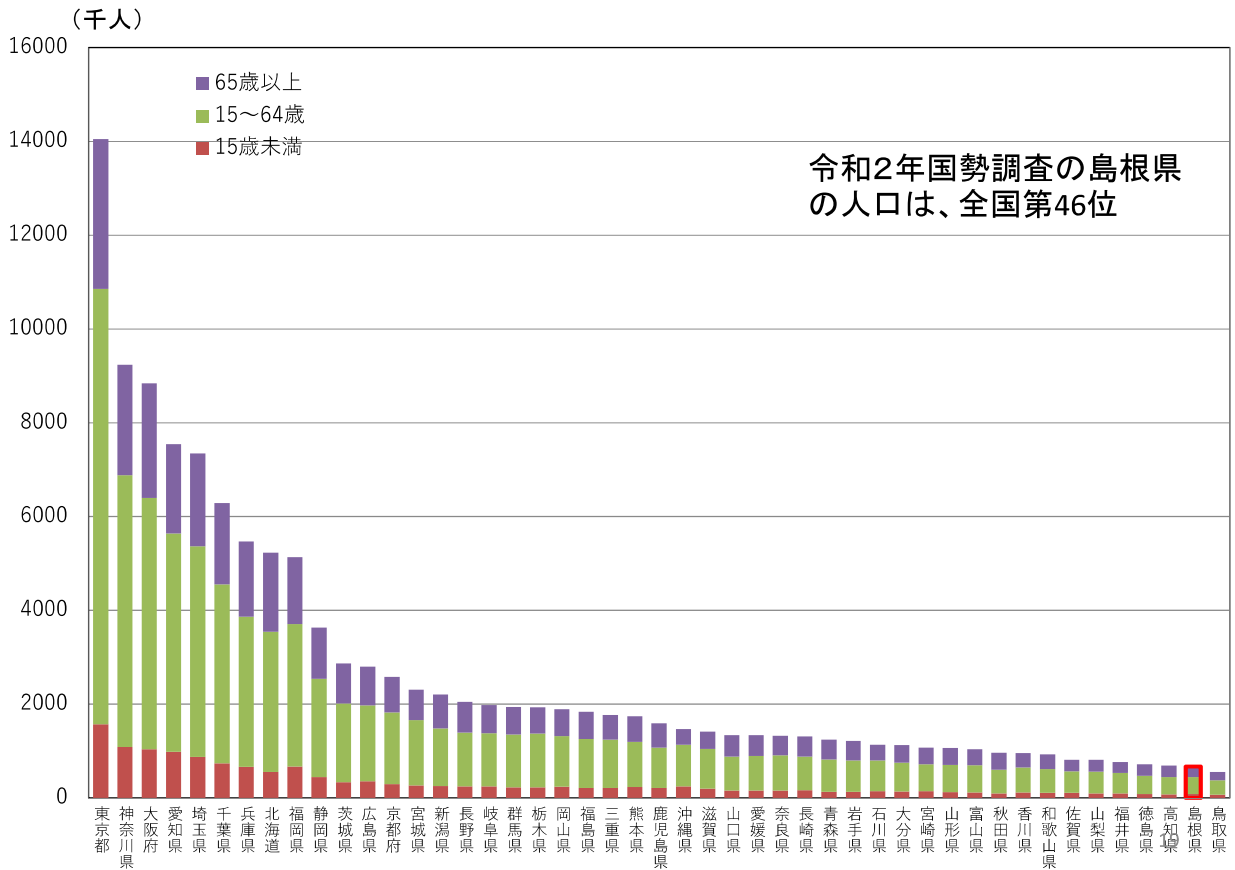
- 令和2年国勢調査における島根県の総人口は**671,126人**
 - 第1回国勢調査（大正9年）以来最少
 - 全国順位は、人口総数は**46位**、人口増減率は**32位**
 - 15歳未満人口は81,837人で4,926人の減少**、**65歳以上人口は229,554人で5,252人の増加**
 - 人口構成割合は、**15歳未満人口は12.2%で0.3ポイントの低下**、**65歳以上人口は34.2%で1.9ポイントの上昇**
- 少子高齢化は進んでいるが、
年齢3区分人口割合の全国順位は、
15歳未満人口割合は27位から16位に上昇
65歳以上人口割合は3位から4位に低下

17

(1) 国勢調査による島根県人口の推移



(2) 都道府県別の人口 (令和2年国勢調査)



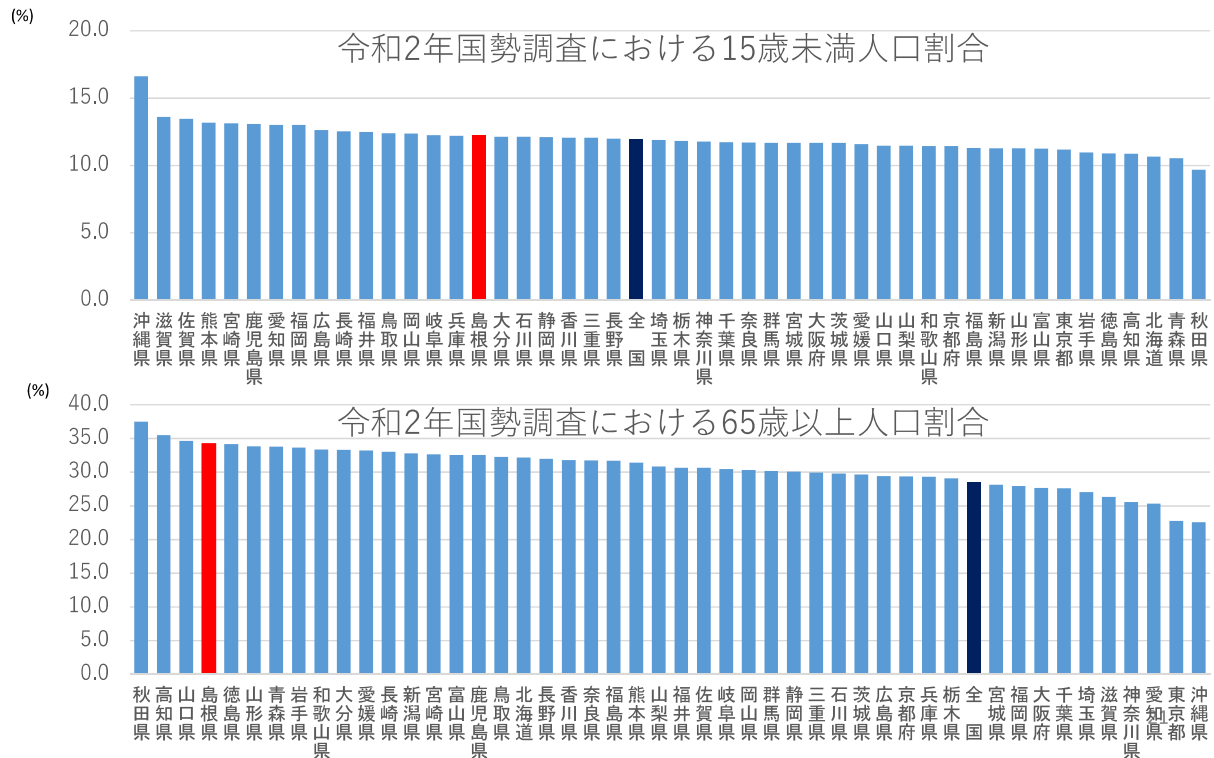
(参考) 都道府県別の年齢3区分別人口・割合

都道府県	人口		人口増減率		年齢(3区分)人口								
	令和2年		平成27年 ～令和2年		15歳未満			15～64歳			65歳以上		
	(人)	順位	(%)	順位	(人)	割合 (%)	順位	(人)	割合 (%)	順位	(人)	割合 (%)	順位
全国	126,146,099		-0.7		15,031,602	11.9		75,087,865	59.5		36,026,632	28.6	
北海道	5,224,614	8	-2.9	27	556,526	10.7	45	2,988,800	57.2	23	1,679,288	32.1	18
青森県	1,237,984	31	-5.4	45	130,259	10.5	46	689,910	55.7	32	417,815	33.7	7
岩手県	1,210,534	32	-5.4	46	132,735	11.0	42	670,784	55.4	33	407,015	33.6	8
宮城県	2,301,996	14	-1.4	12	268,931	11.7	29	1,385,425	60.2	8	647,640	28.1	38
秋田県	959,502	38	-6.2	47	92,855	9.7	47	506,960	52.8	47	359,687	37.5	1
山形県	1,068,027	36	-5.0	43	120,271	11.3	39	586,578	54.9	39	361,178	33.8	6
福島県	1,833,152	21	-4.2	37	206,993	11.3	37	1,045,887	57.1	24	580,272	31.7	22
茨城県	2,867,009	11	-1.7	14	334,614	11.7	31	1,681,662	58.7	13	850,733	29.7	33
栃木県	1,933,146	19	-2.1	19	228,224	11.8	24	1,142,706	59.1	11	562,216	29.1	37
群馬県	1,939,110	18	-1.7	16	226,573	11.7	28	1,127,799	58.2	15	584,738	30.2	29
埼玉県	7,344,765	5	1.1	4	872,859	11.9	23	4,488,130	61.1	4	1,983,776	27.0	42
千葉県	6,284,480	6	1.0	5	736,623	11.7	26	3,813,987	60.7	6	1,733,870	27.6	41
東京都	14,047,594	1	3.9	1	1,568,415	11.2	41	9,284,428	66.1	1	3,194,751	22.7	46
神奈川県	9,237,337	2	1.2	3	1,086,468	11.8	25	5,790,049	62.7	2	2,360,820	25.6	44
新潟県	2,201,272	15	-4.5	40	247,924	11.3	38	1,232,070	56.0	30	721,278	32.8	13
富山県	1,034,814	37	-3.0	29	116,346	11.2	40	581,617	56.2	27	336,851	32.6	15
石川県	1,132,526	33	-1.9	18	137,365	12.1	18	657,990	58.1	16	337,171	29.8	32
福井県	766,863	43	-2.5	22	95,809	12.5	11	436,121	56.9	25	234,933	30.6	25
山梨県	809,974	42	-3.0	30	92,723	11.4	34	467,443	57.7	20	249,808	30.8	24
長野県	2,048,011	16	-2.4	20	245,285	12.0	22	1,148,164	56.1	29	654,562	32.0	19
岐阜県	1,978,742	17	-2.6	24	242,504	12.3	14	1,133,872	57.3	22	602,366	30.4	27
静岡県	3,633,202	10	-1.8	17	439,490	12.1	19	2,100,962	57.8	19	1,092,750	30.1	30
愛知県	7,542,415	4	0.8	6	980,388	13.0	7	4,654,635	61.7	3	1,907,392	25.3	45
三重県	1,770,254	22	-2.5	21	213,373	12.1	21	1,027,332	58.0	17	529,549	29.9	31
滋賀県	1,413,610	26	0.0	8	192,256	13.6	2	849,686	60.1	9	371,668	26.3	43
京都府	2,578,087	13	-1.2	10	294,399	11.4	36	1,527,284	59.2	10	756,404	29.3	35
大阪府	8,837,685	3	0.0	9	1,032,375	11.7	30	5,363,326	60.7	7	2,441,984	27.6	40
兵庫県	5,465,002	7	-1.3	11	666,511	12.2	15	3,197,092	58.5	14	1,601,399	29.3	36
奈良県	1,324,473	29	-2.9	28	154,836	11.7	27	749,514	56.6	26	420,123	31.7	21
和歌山県	922,584	40	-4.3	38	105,598	11.4	35	509,212	55.2	37	307,774	33.4	9
鳥取県	553,407	47	-3.5	33	68,542	12.4	12	306,288	55.3	35	178,577	32.3	17
島根県	671,126	46	-3.3	32	81,837	12.2	16	359,735	53.6	46	229,554	34.2	4
岡山県	1,888,432	20	-1.7	15	233,416	12.4	13	1,082,126	57.3	21	572,890	30.3	28
広島県	2,799,702	12	-1.6	13	353,792	12.6	9	1,622,812	58.0	18	823,098	29.4	34
山口県	1,342,059	27	-4.5	39	153,838	11.5	33	723,588	53.9	44	464,633	34.6	3
徳島県	719,559	44	-4.8	42	78,361	10.9	43	395,215	54.9	38	245,983	34.2	5
香川県	950,244	39	-2.7	25	114,662	12.1	20	533,564	56.2	28	302,018	31.8	20
愛媛県	1,334,841	28	-3.6	35	154,420	11.6	32	737,231	55.2	36	443,190	33.2	11
高知県	691,527	45	-5.0	44	75,171	10.9	44	370,997	53.6	45	245,359	35.5	2
福岡県	5,135,214	9	0.7	7	667,107	13.0	8	3,035,328	59.1	12	1,432,779	27.9	39
佐賀県	811,442	41	-2.6	23	109,174	13.5	3	453,697	55.9	31	248,571	30.6	26
長崎県	1,312,317	30	-4.7	41	164,573	12.5	10	714,726	54.5	41	433,018	33.0	12
熊本県	1,738,301	23	-2.7	26	229,016	13.2	4	963,053	55.4	34	546,232	31.4	23
大分県	1,123,852	34	-3.6	36	136,329	12.1	17	613,637	54.6	40	373,886	33.3	10
宮崎県	1,069,576	35	-3.1	31	140,291	13.1	5	580,412	54.3	43	348,873	32.6	14
鹿児島県	1,588,256	24	-3.6	34	207,602	13.1	6	863,898	54.4	42	516,756	32.5	16
沖縄県	1,467,480	25	2.4	2	243,943	16.6	1	892,133	60.8	5	331,404	22.6	47

注) 不詳補完値による。

2. 少子高齢化から見る島根県の位置づけ

島根県は、もはや少子高齢化のトップランナーではない。



(1) 年齢3区分別人口構成割合、順位及び人口減少率の状況

島根県の少子高齢化は進んでいるものの、そのスピードは、全国平均より緩やかになっている。

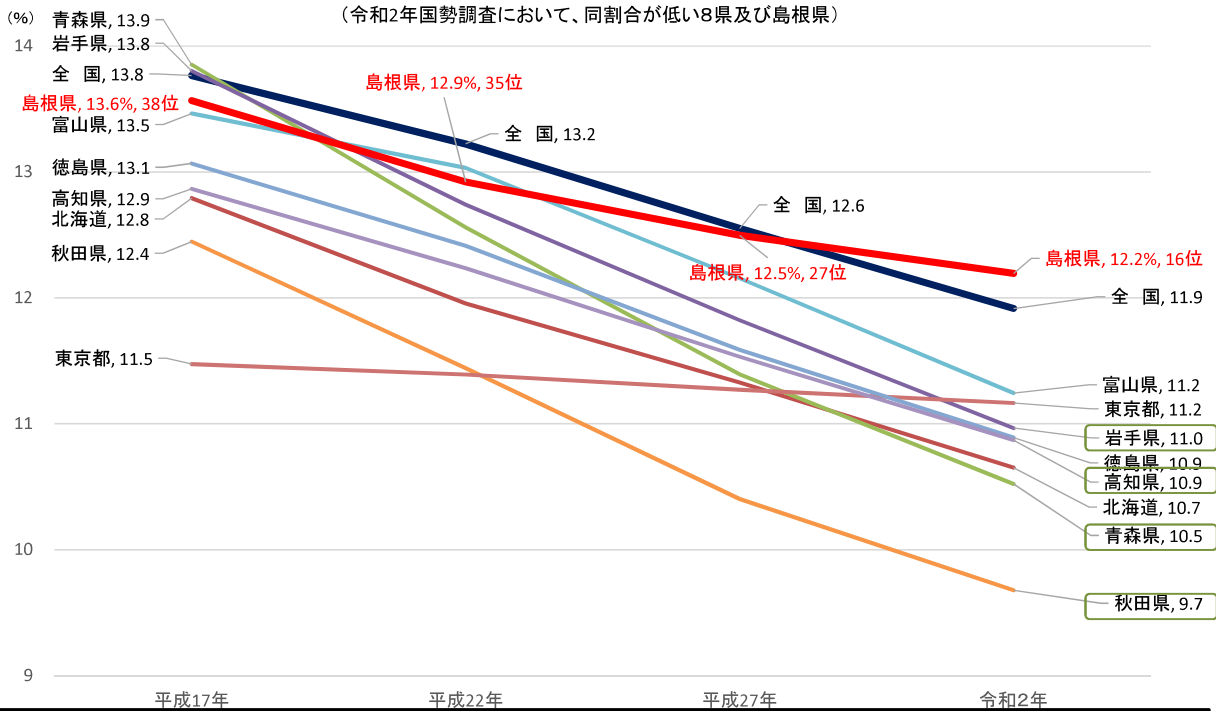
区分	年	構成割合			人口増減率		
		島根県	全国	島根県順位	島根県	全国	島根県-全国 (ポイント)
15歳未満人口	H17	13.6%	13.8%	38位	▲ 10.2%	▲ 5.1%	▲ 5.1
	H22	12.9%	13.2%	35位	▲ 8.3%	▲ 4.1%	▲ 4.2
	H27	12.5%	12.6%	27位	▲ 5.9%	▲ 5.1%	▲ 0.8
	R2	12.2%	11.9%	16位	▲ 5.7%	▲ 5.8%	0.1
15~64歳人口	H17	59.3%	66.1%	47位	▲ 4.5%	▲ 2.5%	▲ 2.0
	H22	58.0%	63.8%	47位	▲ 5.8%	▲ 3.6%	▲ 2.2
	H27	55.2%	60.9%	47位	▲ 7.5%	▲ 4.5%	▲ 3.0
	R2	53.6%	59.5%	46位	▲ 6.1%	▲ 2.9%	▲ 3.2
65歳以上人口	H17	27.1%	20.2%	1位	6.4%	16.7%	▲ 10.3
	H22	29.1%	23.0%	2位	3.1%	13.9%	▲ 10.8
	H27	32.3%	26.6%	3位	8.2%	15.5%	▲ 7.3
	R2	34.2%	28.6%	4位	2.3%	6.6%	▲ 4.3

平成17年以降の年齢3区分別の人口に着目すると、

- 15歳未満人口は、構成割合は低下しているが、順位は上昇している。減少率は低下し、R2は全国よりも緩やかな減少になった。
- 65歳以上人口は、構成割合は上昇しているが、順位は低下している。増加率は低下し、R2は全国よりも緩やかな増加になった。

(2) 他県との比較①(15歳未満人口割合の推移)

資料: 国勢調査

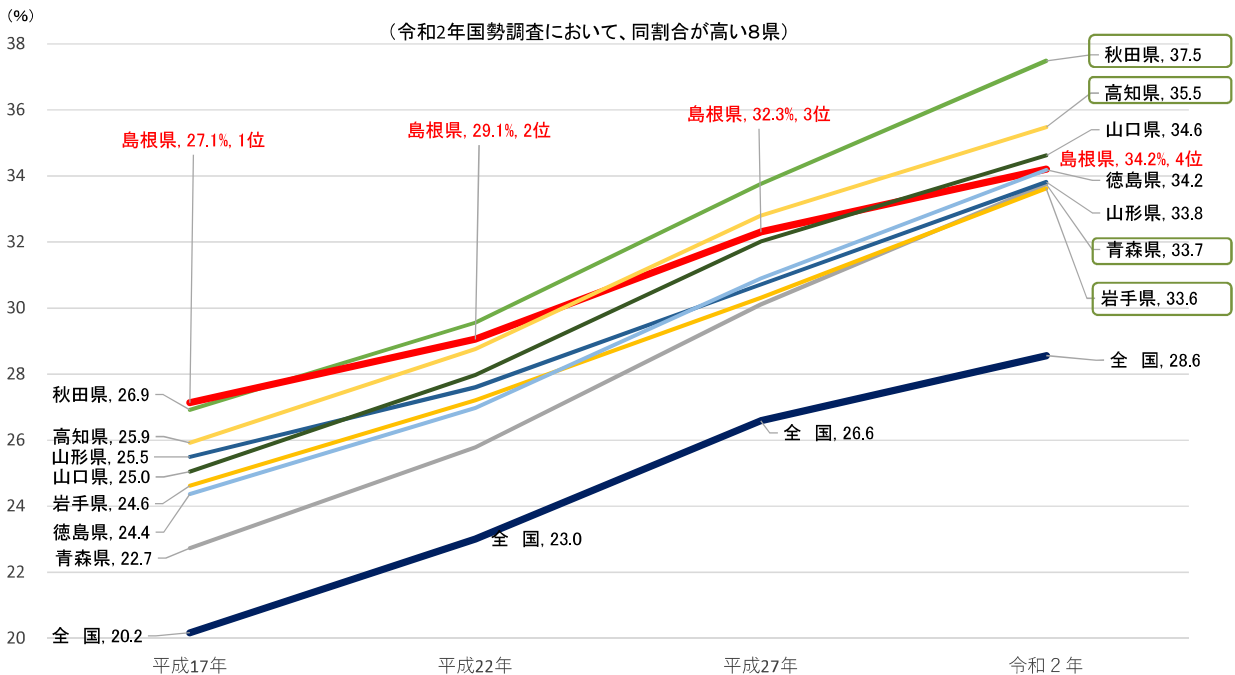


- 島根県は、H17の13.6%からR2の12.2%に1.4ポイント低下
- 全国は、H17の13.8%からR2の11.9%に1.9ポイント低下
- 15歳未満人口割合は全国平均を上回り、全国順位はH17の38位からR2の16位[過去最高]に上昇

23

(2) 他県との比較②(65歳以上人口割合の推移)

資料: 国勢調査



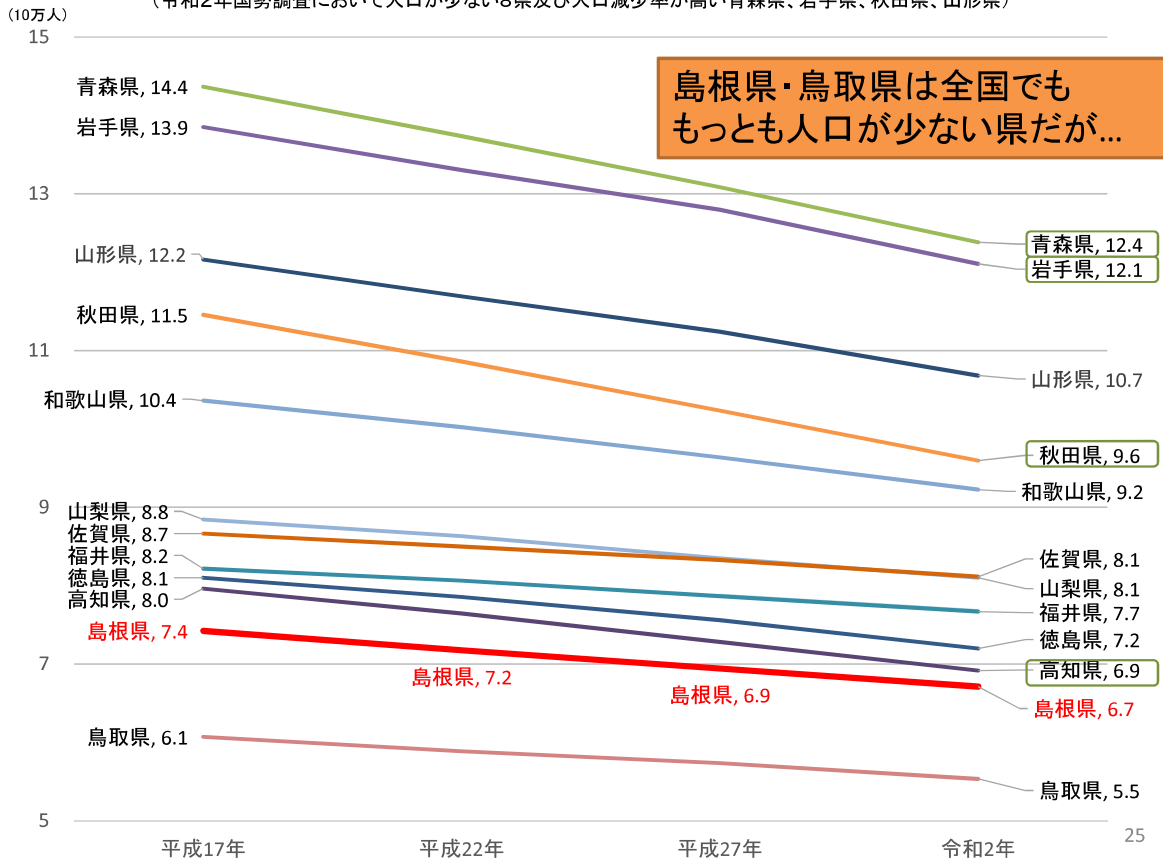
- 島根県は、H17の27.1%からR2の34.2%に7.1ポイント上昇
- 全国は、H17の20.2%からR2の28.6%に8.4ポイント上昇
- 65歳以上人口割合の上昇は全国平均よりも緩やかで、65歳以上人口割合の全国順位はH17の1位からR2の4位に低下

24

(2) 他県との比較③(総人口の推移)

資料: 国勢調査

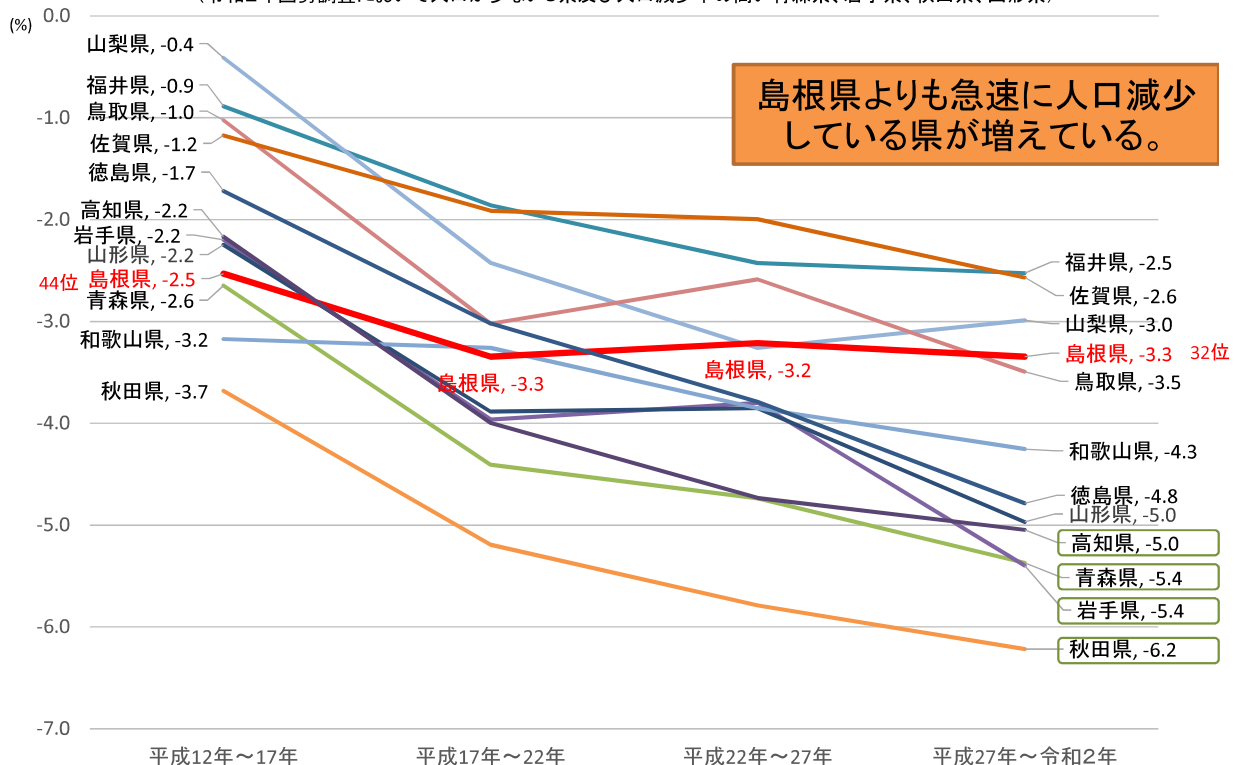
(令和2年国勢調査において人口が少ない8県及び人口減少率が高い青森県、岩手県、秋田県、山形県)



(2) 他県との比較④(人口減少率の推移)

資料: 国勢調査

(令和2年国勢調査において人口が少ない8県及び人口減少率の高い青森県、岩手県、秋田県、山形県)

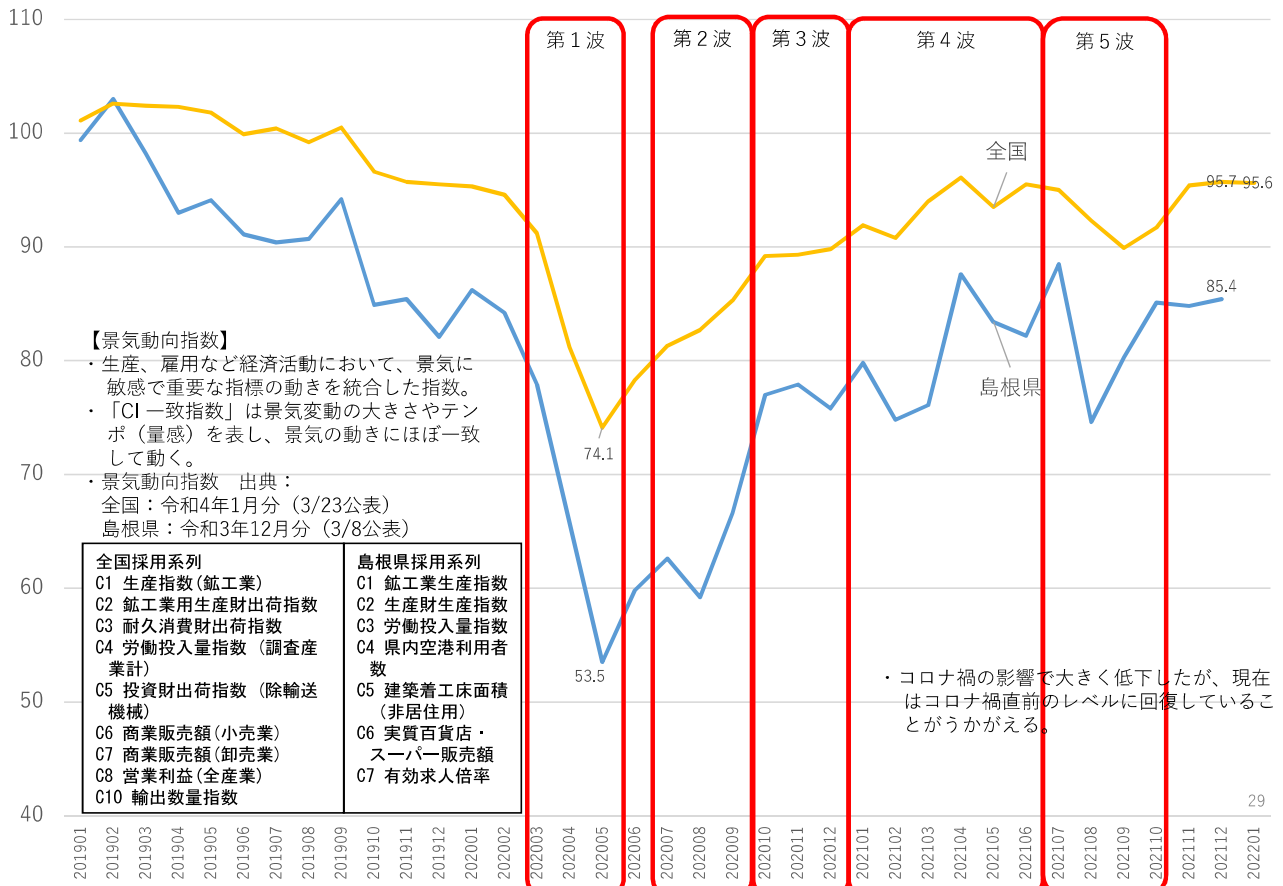


人口減少率が高い秋田県、岩手県、青森県、高知県の4県は、15歳未満人口割合の低さも、65歳以上人口割合の高さも全国上位

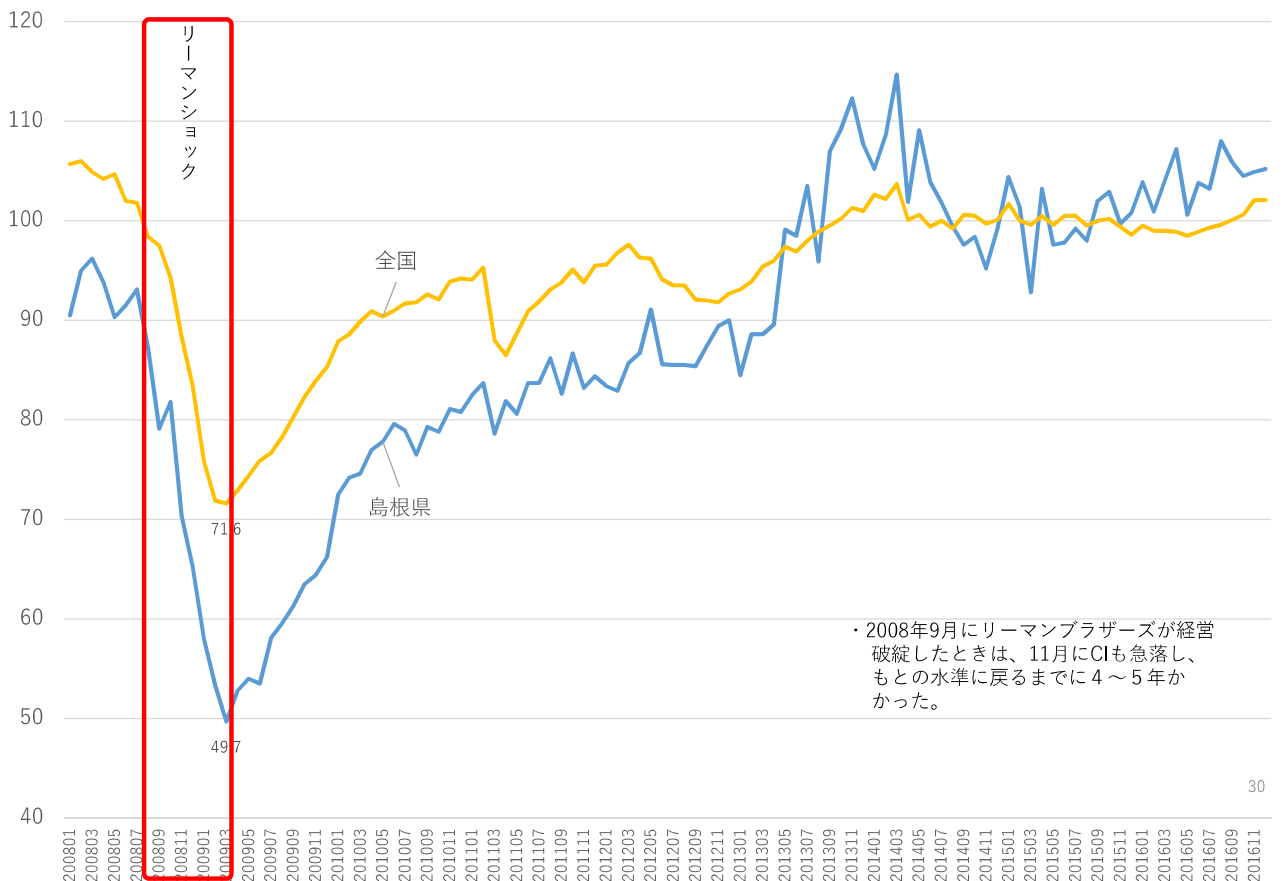
3.統計に見る島根県経済への コロナの影響

景気全体への影響

【景気動向指数】（CI一致指数）の推移（2015=100）



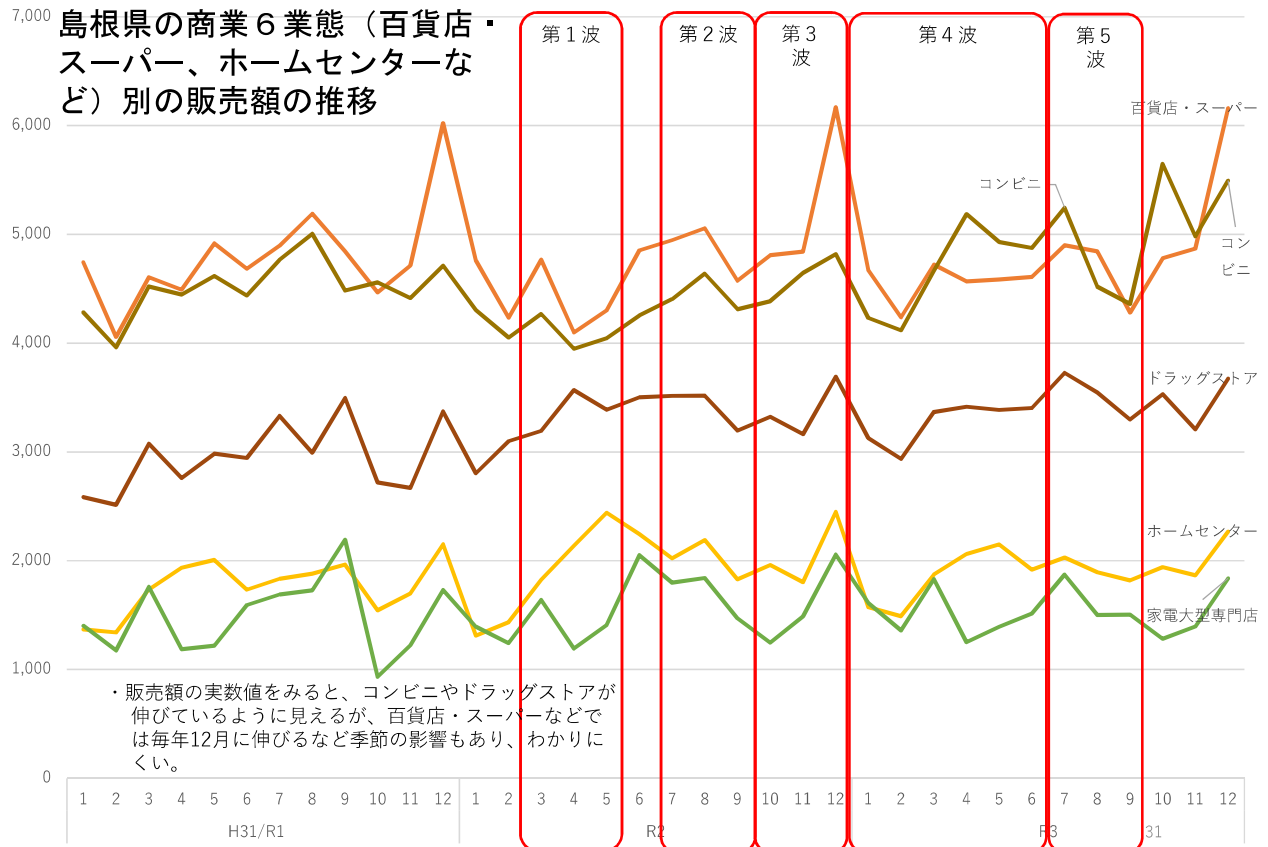
【景気動向指数】（CI一致指数）の推移（2015=100）



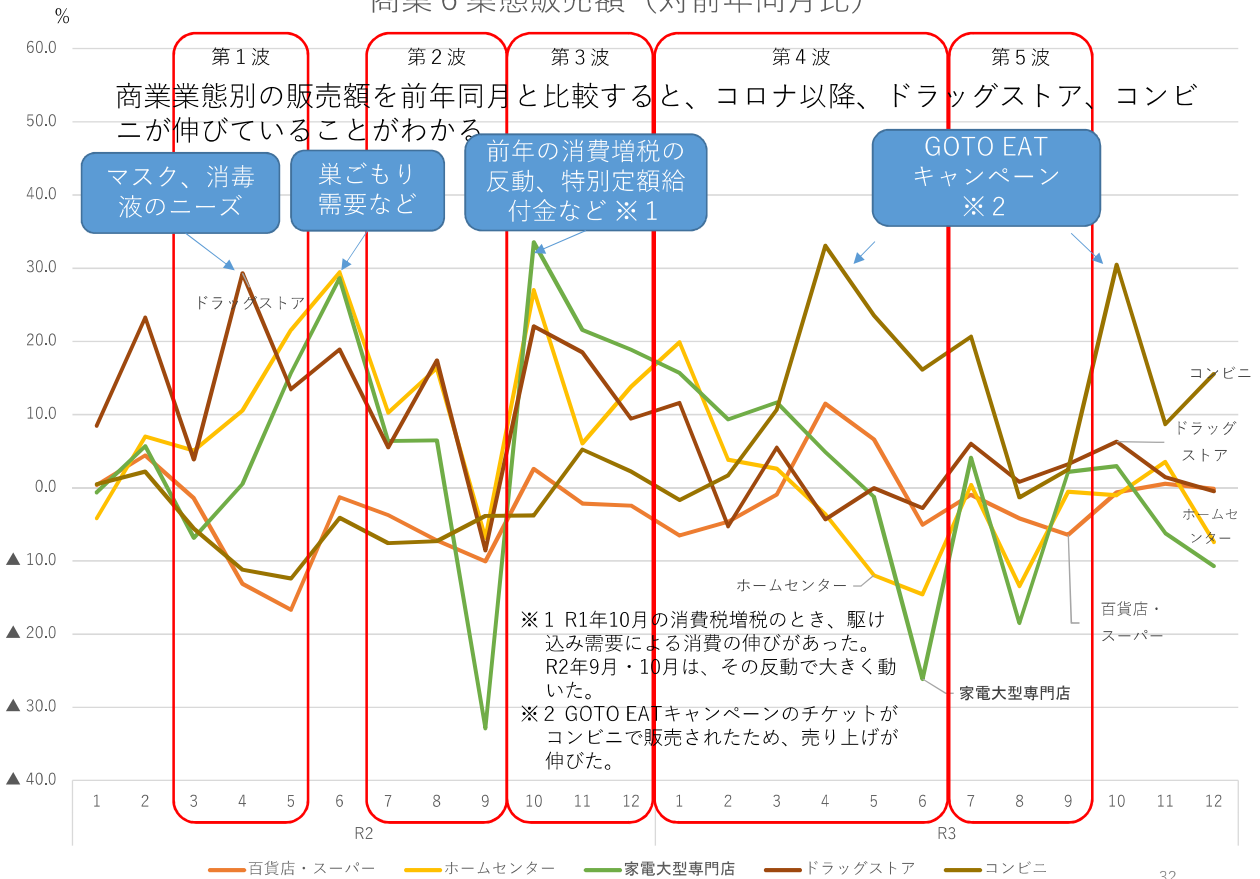
商業への影響

商業 6 業態販売額 (100万円)

島根県の商業 6 業態 (百貨店・スーパー、ホームセンターなど) 別の販売額の推移

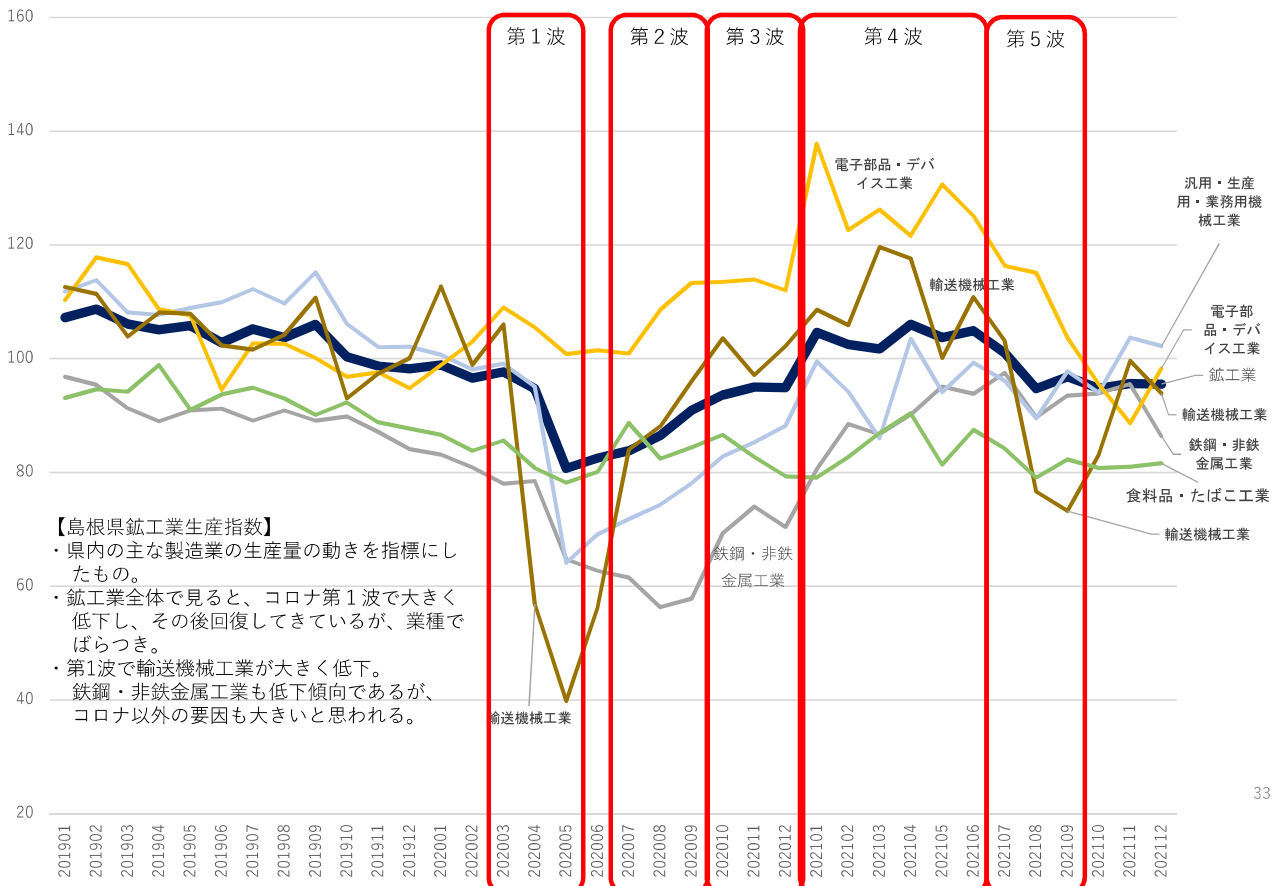


商業 6 業態販売額 (対前年同月比)



製造業への影響

【島根県鉱工業生産指数】の推移(2015=100、季節調整済)

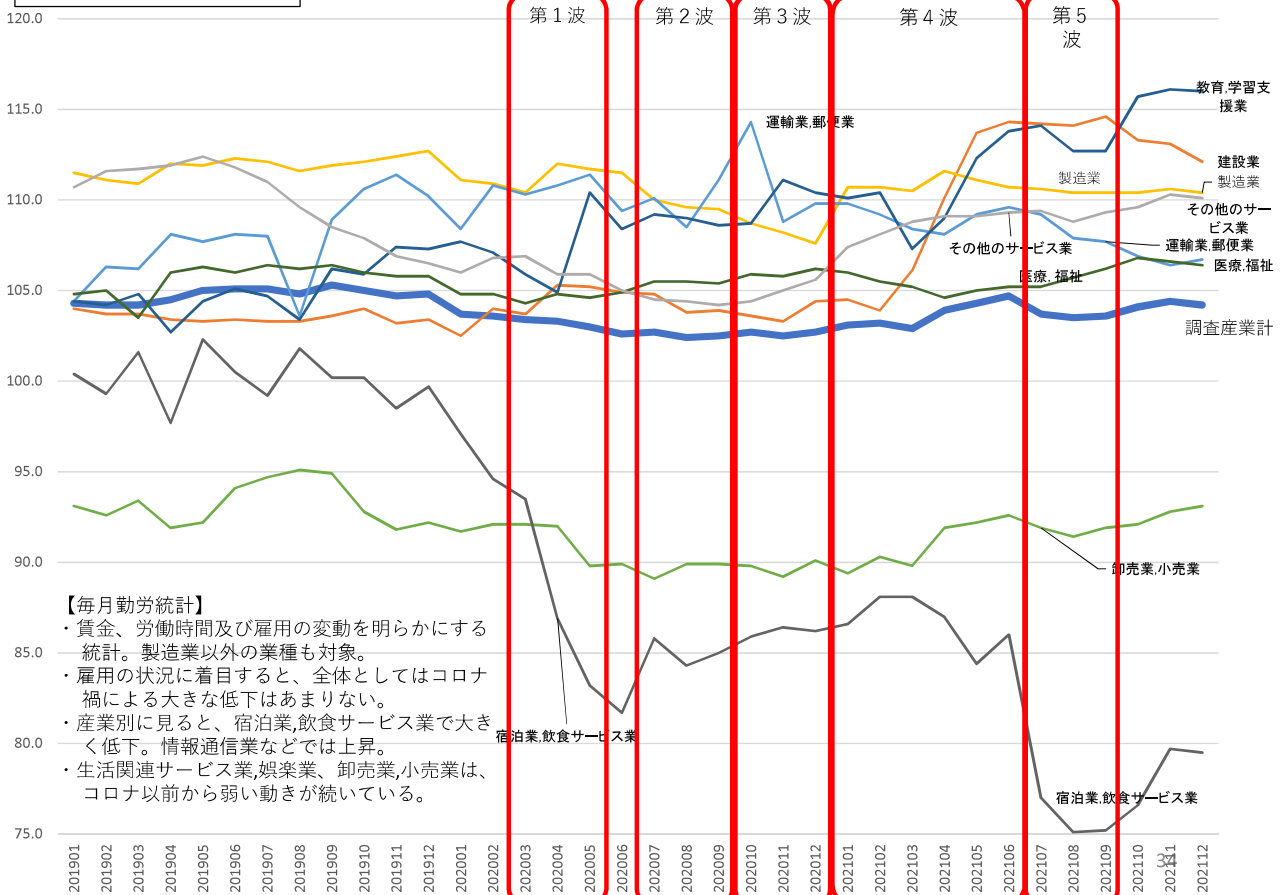


【島根県鉱工業生産指数】

- ・県内の主な製造業の生産量の動きを指標にしたもの。
- ・鉱工業全体で見ると、コロナ第1波で大きく低下し、その後回復してきているが、業種でばらつき。
- ・第1波で輸送機械工業が大きく低下。
鉄鋼・非鉄金属工業も低下傾向であるが、
コロナ以外の要因も大きいと思われる。

雇用への影響

【島根県毎月勤労統計】常用労働者の雇用指数(事業所規模5人以上) 2015=100



【毎月勤労統計】

- ・賃金、労働時間及び雇用の変動を明らかにする統計。製造業以外の業種も対象。
- ・雇用の状況に着目すると、全体としてはコロナ禍による大きな低下はあまりない。
- ・産業別に見ると、宿泊業、飲食サービス業で大きく低下。情報通信業などでは上昇。
- ・生活関連サービス業、娯楽業、卸売業、小売業は、
コロナ以前から弱い動きが続いている。

3. 最後に

大切なことは、役に立てること


- 問題を見つける力（問題発見力）
現場にも足を運んで、いろいろな経験を
- 問題を解く力（分析力）
数学的な分析
- 結果を使わせる力（実行・表現力）
プレゼンや具体化の力
KKD（勘・経験・度胸）も大事

（参考 河本薫(2013)「会社を変える分析の力」講談社現代新書）

35

参考となるウェブサイト

【国 統計データ】

- e-Stat（政府統計の総合窓口）<https://www.e-stat.go.jp/> 
- 統計でみる都道府県・市区町村のすがた
<https://www.stat.go.jp/data/ssds/index.html>

【島根県 統計データ】 しまね統計情報データベース Statistical Information of Shimane

- しまね統計情報データベース <https://pref.shimane-toukei.jp/>

【島根創生計画】

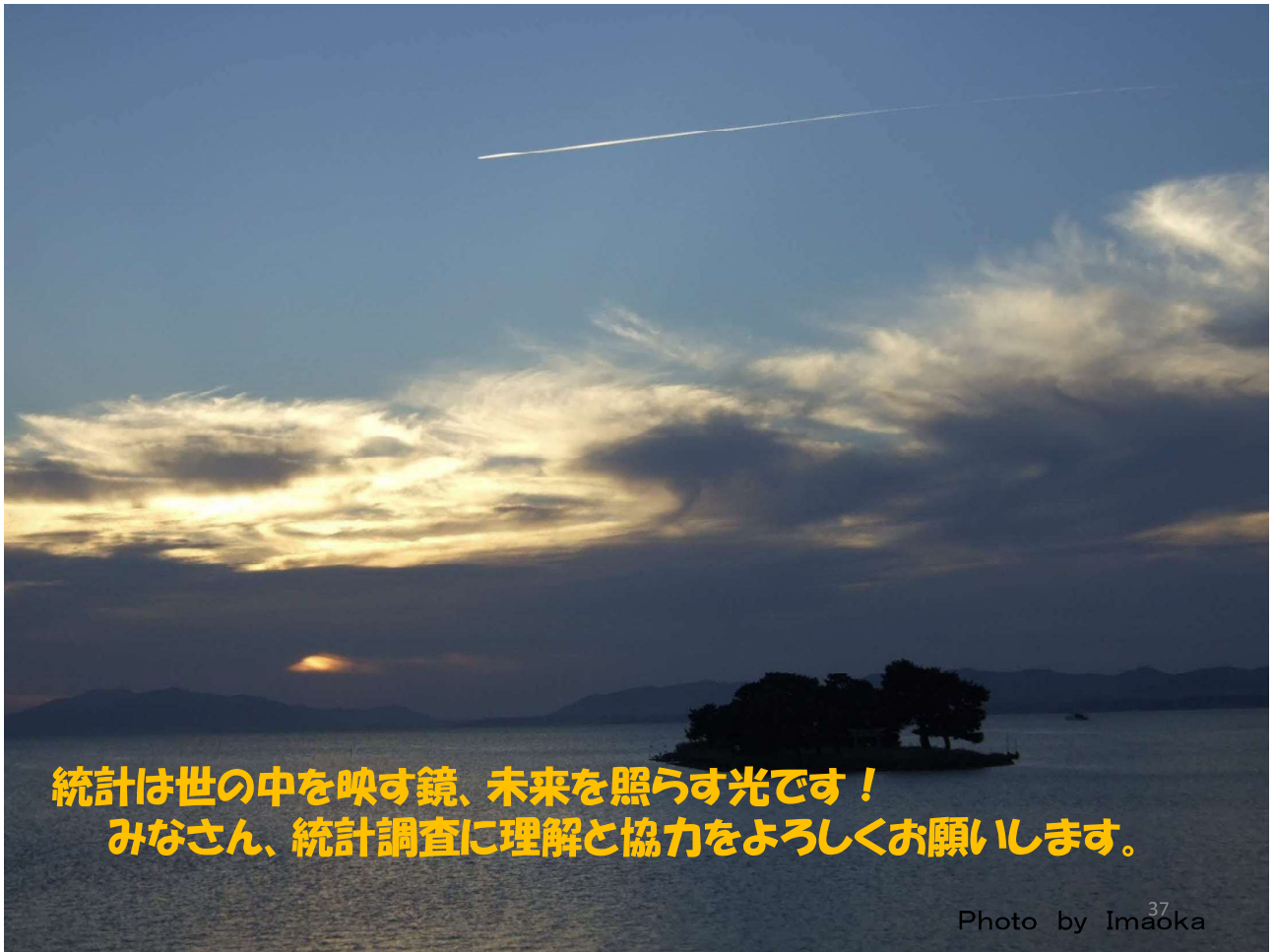
https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku_illustrated.pdf

- （島根創生計画のイメージ動画）
<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/>
- 島根創生を進めるための新規・拡充施策（令和4年度版）
<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/shinkikakujuuR4.pdf>



イメージ動画はこちら





統計は世の中を映す鏡、未来を照らす光です！
みなさん、統計調査に理解と協力をよろしくお願いします。

Photo by Imaoka³⁷